

かけはし



ユキワリソウ(市川三郷町)

発行：峡南教育事務所地域教育支援スタッフ

所在地：南巨摩郡富士川町鰻沢771-2

TEL:0556-22-8154 FAX:0556-22-8144

HPでも御覧になれます。 <http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-mk/index.html>

☆峡南地区「子育て学習会」の開催☆講師：山梨県立大学教授 高野牧子氏



1月20日(土)に身延町総合文化会館において、「子育て学習会」を開催しました。山梨県立大学 人間福祉学部 人間形成学科の学科長で「舞踊教育学・身体表現」教授の高野牧子氏をお迎えし「心・ふれあう・動きでコミュニケーション～親子で楽しく身体表現遊び～」をテーマに講演と身体遊びの学習が行われました。以下が概要です。

1. 幼児期の運動指針(平成30年3月 幼児期運動指針策定委員会) 文部科学省 *幼児は様々な遊びを中心に、毎日合計60分以上楽しく体を動かすことが大切!

<ポイント>・多様な動きを経験できるように様々な遊びを取り入れる・体を動かす時間を確保する・発達の段階に応じた遊びを提供する



高野牧子氏



2. 幼児期の特性:幼児期は神経系の発達に伴い運動をコントロールする能力が顕著に向上する

幼児期後期～10歳までが運動能力獲得の敏感期

- ・「多様な動きの獲得」:生涯にわたる運動能力の基礎
- ・「動きの洗練化」:ぎこちない動きから巧みな動きへ



3. 運動は意欲的な心を育成する:自己有用感を得る機会

・運動で自己有用感を得て運動好きになるように子どもを育てるには、「すごいね」「やったね」とほめて自信を持たせる声かけと支援が大事である。幼児期に運動の楽しさを知った子は小学校でも進んで運動する。(* 自己有用感:

他者から評価されることで得られる感情、「自分は人の役に立つ・喜んでもらえる」という気持ち)

4. 身体表現とは心とからだを一体として捉え、感じたこと、考えたこと、伝えたいことを体を使って表現すること。体を通じた理解とコミュニケーションのポイントは、①ふれあうことの大切さ…皮膚への刺激の重要性 ②動きのキャッチボール…キーワードは模倣。模倣することで共感を生む。



講義後は、高野先生の美しく軽快な呼びかけで身体表現遊びを実践しました。メニューは、「はじはじはじまるよ」(心身ほぐし)、「ちっくんハチさん」「ハイタッチ・ゲーム」(動き遊び)、「お母さんのお舟」「お母さんのひざに立ってみよう」(親子遊び)、音楽にあわせて「おにぎり」「バスに乗って」、親子ダンスの「ぱんぱんダ」など。また、「幼児期に身につけておきたい36の基本動作ゲーム」で多様な動きに挑戦したり、スポンジボールゲームで自発的に体を動かして盛り上がりました。参加者からは「心地よい汗を流して90分があっという間でした。」「特別な用具なしでこんなに遊べるとは驚きです。」「夢中で動いて、自然に笑顔になっていました。」「家や職場(保育園)でまた楽しみたいです。」との声が寄せられ、充実した学習会となりました。

かけはし154号の誌面

- P1 子育て学習会
- P2 早川南小学校創立50周年記念行事・富士山科学研究所国際シンポジウム2017
- P3 連載特集: 峡南地域の食材#20 やつがしら ことぶき勸学院学習活動全体発表会
- P4 峡南地域中学生思春期体験学習、増穂商業高校子育て体験学習

早川南小学校 創立50周年 記念式典・児童発表会



早川南小校長 小尾一彦校長



全校合唱「ハーモニー ～序章～」 「COSMOS」

早川南小学校 小尾一彦校長は創立50周年の記念式典と児童発表会を平成29年12月2日(土)に同校体育館で開催しました。小尾校長から「これまでの伝統を受け継ぎ、50周年を新たな出発点として、さらなる早川南小学校の発展に努力していく所存です。」と挨拶があり、美しい全校合唱が披露されました。児童発表会ではまず、学習発表「早川小学校の歴史」(総合学習)で3班に分かれた児童が「校舎と人数の変化」「南小での生活の様子」「南小吹奏楽の歴史」を発表しました。ミュージカル「21びきのネコ」では、耳やしっぽをつけた児童が楽しい踊りと歌で会場を魅了しました。吹奏楽発表の1曲目「TOMORROW」は、1・2年生の踊りがあり華やかなステージとなりました。フィナーレの「校歌」は、児童と保護者、卒業生など多くの南小に関わる人々が参加して「合同ステージ」の形態での演奏でした。息の合った迫力のある演奏に参加者は聞き入りました。練習の成果が十分に発揮され、すべての演目が大成功で、素晴らしい創立50周年記念式典・発表会となりました。

山梨県富士山科学研究所国際シンポジウム2017 ～火山噴火と防災対応

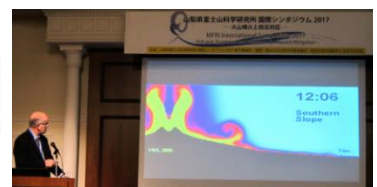
平成29年11月24日(金)、甲府市内のホテル談露館にて、国際シンポジウム2017(主催:山梨県富士山科学研究所 実行委員会)が開催されました。大規模噴火が発生した場合、監視機関と火山専門家、地方自治体、避難対象者となる居住者・事業者の協力が不可欠です。この協力を進めるためには、各機関と地域住民が共に防災意識を高め、火山災害を軽減するための対応策を考える機会をもつことが重要です。そこで、このシンポジウムは、これまでの国内外での事例を紹介することで、各機関と住民が共に事例から学び考える機会をもつことを目的に開催され、約80名が参加しました。

イタリア、インドネシア、ニュージーランド、日本の専門家が集い、発表した後に討論が行われました。例えば、インドネシアでは、火山噴火が高確率で予測されたため避難勧告を出して住民10万人を避難させましたが、噴火はおこらなかったという事例がありました。噴火予測の難しさと、それに対する住民の理解を得ることの困難を痛感したそうです。今後、同様の事例がおこった場合「またきっと誤報だ」と思い込み、避難がスムーズに行かない可能性を懸念しているそうで、これを払拭するために啓発を続け理解を得て、住民が自主的に避難行動をとれるよう安全確保に努めたいとのことでした。

貴重な事例発表から学び、県民が富士山の火山防災意識を高める機会となった有意義なシンポジウムでした。



藤井敏嗣 所長



☆連載特集☆『峡南地域の食材』No.20 南部町「やつがしら」と食改さん



【南部町】南部町は山梨県の最南端（甲府から南へ60km）に位置し、北は身延町、三方を静岡県と接する町です。年平均気温15度・降雨量は2500mmと温暖多雨の太平洋沿岸気候の地域です。清水が豊かで、お茶、たけのこ、生姜が特産です。

【南部町の食改さん】南部町の「食生活改善推進員協議会」は、50年の歴史を持ち、樋口清江会長を含め107名で活動しています。年2回の勉強会や、年3回の親子料理教室、ウォーキング交流会を開催して、生活習慣病予防や、行事食や郷土料理の伝達に尽力しています。また、「たけのこまつり（4月）」と「福祉健康祭り（10月）」にブースを出して減塩や手ばかり法の普及、たけのこの天ぷらの試食などで特産品をPRして、「地産地消の促進」にも貢献しています。



樋口清江会長

【やつがしら】頭が八つあるような形状の里芋の一種で、滋養強壮に富み茹でると「ほくほく」の食感が楽しめます。貴重な炭水化物・タンパク源として山間部で古くから栽培され、カリウムが多く塩分を排泄するので高血圧を予防し、コレステロール生成を抑制するため動脈硬化予防にも効果があります。



【食生活改善 調理実習：やつがしら料理】

平成30年2月13日（火）に南部町活性化センターで、調理実習と試食会を行いました。やつがしらを始め、南部町産の食材をふんだんに使って、滋養豊富な健康メニューを2時間で完成させました。献立は八つ頭の煮物、八つ頭コロッケ、八つ頭の茎をかんぴょう代わりに使った巻き寿司、白和えです。地元の旬の食材を美味しく調理して、体によい食事をこしらえる。それを腹八分目に食べて、気持ちよく生活する。その凛とした姿勢が伝わる実習でした。



やつがしらコロッケ 材料（12人分）やつがしら（皮付き）

1kg 豚挽肉300g 玉ねぎ2個 塩コショウ・小麦粉・パン

粉・卵・油各適量 作り方 ①やつがしらを洗って皮をむき、

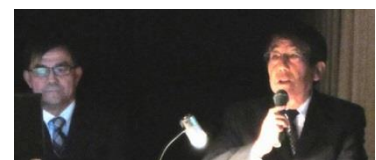
一口大にゆでてつぶす。②フライパンに油をしき、みじん切りにしたたまねぎ、豚挽き肉を炒め、塩コショウをする。③①と②を混ぜて俵型に成型し、小麦粉→卵→パン粉の順に衣をつける。④揚げ油であげる。お好みでゆずみそを付けて食べてもおいしいです。

やつがしら煮物材料（約8人分）やつがしら（皮付き）1kg かつお・こんぶだし900ml しょうゆ大さじ3~4 砂糖大さじ3~4

作り方 ①やつがしらを洗って皮をむき、いもがひたひたになるくらいのだし汁で煮る。②砂糖を加えことごと煮て、しょうゆを加える。落とし蓋をして20分ほど煮て味を煮含ませる。③すぐ食べてもおいしいですが、一晩たつと味が染みてさらにおいしいです。

ことぶき勸学院 学習活動全体発表会

1月26日、山梨県立文学館で平成29年度学習活動全体発表会が開催されました。県内6教室の生徒さんが一堂に会し日頃の勸学院の学習と諸活動を発表しました。このねらいは「学生間の相互理解を深め活動の質的向上と卒業後の活動継続を促し、地域貢献できるリーダーを育成すること」です。峡南教室は、2年生を代表して片田駿三さんが「生きがいつくりと勸学院の充実」と題した発表を行いました。「長寿のポイントは①健康②地域貢献③生きがい④ことぶき勸学院の活動」であり「青春とは心のあり方である」という内容で、最後はSamuel Ullmanの詩“*Youth*”「青春」を会場全体で朗読しました。熱意溢れる素晴らしい発表で、ことぶき勸学院の活動こそ青春であり、「健康長寿の秘訣」と締めくくりました。



小林一徳先生

片田駿三氏

平成29年度峡南地域中学生思春期体験学習

今年度も峡南地域全9中学校で、思春期体験学習が実施されました。目的は、中学時代に子育てについて考え、赤ちゃんとのふれあいを通して「生命の尊さ」を学ぶことです。各校の教育課程に位置づけられ、今年で19年目を迎えました。

この事業は、学校・町・保健福祉事務所・教育事務所の4者が協力して実施しています。各校の担当者、各町の保健師さんが中心となり、打合せを重ねることで、よりよい講話、体験学習の指導方法を考案しています。協力母子や妊婦さんとの連絡調整を密に行い、安全面に配慮して始めて可能となる貴重な機会です。

中学生が非常に多くを学んだ意義深い学習であったことが、事後アンケート結果から分かりました。引き続き各中学校で取り組んでいただきたいと思います。

《事前学習・プレ実習風景》

早川中



南部中



市川中



三珠中

市川南中

鐵沢中

《体験実習風景》



身延中



市川中



早川中



南部中



身延中



鐵沢中



増穂中



六郷中



三珠中



市川南中

増穂商業高校 子育て体験学習

増穂商業高校（川手正昭校長）は3年生を

対象に7回目の「子育て体験学習」を実施しました。高校での子育て学習の実施は全国でも珍しく貴重です。高校生だからこそ、妊娠～育児を中学時代より身近に感じ、近い将来自分にも起こりうることとして現実味を持って体験できます。同校では峡南地域の全中学校で思春期体験学習を実施していることを踏まえ、中・高と「生命の大切さ」を継続学習することで、より深く効果的な学びを推進しています。富士川町子育て支援課と連携し、育児に必要な事をグループ討論して発表したり、妊婦さんや、新生児とその保護者を招いて「抱っこ体験」と質疑応答をするなど内容の充実を図っています。生徒は妊娠・出産・育児に伴う「親の責任の重さ・苦労と喜び」を思い、真剣に取り組んでいました。



・1年間の「かけはし」ご愛読を有り難うございました。今後ともご愛顧いただけますようお願い致します。